

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「プールからの水流出と水道料金の弁償」

◇ 《設問1》（模擬講義の要点整理）の解答例 ◇ ※下線部はキーワードの使用例

教員のミスによるプールの水流出で余分な水道料金が発生すると、教員が弁償を求められる場合もある。弁償とは「他者に与えた損害の穴埋め」のことで損害賠償ともいい、民法に基本的なルールが書かれている。川崎市の小学校で発生したプールの水流出では、市がミスをした教員と校長に損害の半額の弁償を請求したが、その請求の適否が世間で議論になった。教員にミスの責任をとらせるべきか否かは簡単に決められない問題だと言える。 (200字)

※キーワード

弁償、損害賠償、過失（＝ミス、不注意）、（ミスの）責任

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

教員のミスによるプールの水流出で余分な水道料金の支払いが発生した場合に、ミスをした教員や校長などに対して損害賠償を請求することについて、あなたはどのように考えますか。講義の内容も参考にしながら 600 字以内の文章で説明しなさい。

〔評価の視点〕

- ・ミスをした教員に損害賠償を請求することに賛成または反対のどちらの立場で答案を書いても構いません。また「損害賠償を請求すべきか否かは場合による」という意見もあり得ます。
- ・どのような立場から書かれた答案であっても、自分自身の意見と理由を矛盾なく組み合わせて述べている場合には得点率 60%を基準とします。
- ・模擬講義の中で取り上げた内容（特に〔4〕誰が責任をとるべきなのか？）と結び付けながら自分自身の意見を述べている答案はプラス評価とします。
- ・行頭の文字下げや段落分けが不適切な箇所があったり、誤字・脱字がある場合には、一定の減点をおこないます。